

平成 28 年度 第 4 回田平町地域協議会会議録

1. 会 場 田平支所 3 階会議室
2. 日 時 平成 29 年 2 月 27 日 ( 月 ) 13 時 30 分開会
3. 出席委員 久原鐵男委員、岡斉委員、中西正人委員、松瀬郡一郎委員、  
長田康志委員、松本一郎委員、永井正則委員、早田博子委員、  
須藤豊博委員、安田豊委員、小田浩吉委員、手島りつ子委員、  
針尾幸一郎委員
4. 欠席委員 吉福弘実委員、針尾郁子委員
5. 職 員 山口龍一郎田平支所長、森川祐輔地域振興課長、  
立石哲也地域振興課参事監兼市民協働班長、  
松本哲朗産業建設班長、千代延貴史地域振興課主査、  
氏田裕也田平町中央公民館長
6. 議事録署名人 長田康志委員、早田博子委員
7. 傍聴人の数 2 人
8. 審議案件等の概略及び審議結果

13 時 30 分 開会

- ( 1 ) 開会
- ( 2 ) 支所長挨拶  
山口支所長挨拶
- ( 3 ) 会長挨拶  
久原会長挨拶

事務局

会議を進めていきますが、地域協議会の運営等に関する規則第 2 条の規定によ

りまして、議長は会長にお願いいたします。

会長

それでは、事務局から説明がありましたとおり、議長を務めさせていただきます。

審議に入ります前に、本日の出席委員数は、15名中12名の出席で地域自治区の設置に関する協議書第9条の規定により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを宣言いたします。なお、吉福弘実委員、針尾郁子委員から欠席の届けがあります。また、松本一郎委員から遅刻の届けがあります。

続いて議事録署名委員の指名を行います。委員名簿の中から、長田康志委員、早田博子委員を指名いたします。

#### (4) 審議事項

会長

それでは、会議次第にそって会議を進めてまいります。4番の審議事項に入ります。平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金、第10回光のフェスタ及び第19回たびら中瀬草原クロスカントリー大会の実績評価につきまして、事務局の説明を求めます。

事務局

これより、平成28年度平戸市まちづくり活性化事業交付金、第10回光のフェスタ及び第19回たびら中瀬草原クロスカントリー大会の実績評価をしていただきますが、その前に採点の流れを説明いたします。

～採点の流れを説明～

以上、よろしく申し上げます。

会長

ただいま、事務局より審査の方法について説明がありましたが、何かご質問はございませんか。ないようですので、それでは審査に入ります。光のフェスタ実行委員会の入室をお願いします。第10回光のフェスタ事業について、光のフェスタ実行委員会より実績報告をお願いします。時間配分は実績報告を10分、質疑応答を10分、採点を10分とします。それではお願いします。

光のフェスタ実行委員会

こんにちは、光のフェスタ実行委員会です。13ページですが今年の事業についてまとめています。平戸市内において数少ない冬のイベントを田平公園から地域振興の輪を広げていくということで、第10回を迎えることができました。今年の

テーマは10年目としての活動内容の充実と平戸一番音楽祭の開催、広報内容の充実ということで行いました。企画会議等から地域おこし協力隊に参加していただき活発な意見を出してもらいました。広報活動としましては、市内全域の区長便、平戸市の観光案内所、MR列車の中吊り広告、MR有人駅の掲示、無料情報誌への投げ込みとファミリーマートさんの県北地区40ヶ所の店舗、平戸市内のセブンイレブン、協賛企業等に協力いただきポスターを貼らせてもらいました。開催前のイベントとしましては、親和銀行田平支店さんに協力をいただき銀行内に昨年の写真コンテストの写真を掲載して今年の告知をさせていただきました。また、21ページですが長崎新聞さんにオープニングの様子を新聞掲載していただきました。インターネットですが、九州電力さんのホームページのイルミネーション特集で九州管内のイベントのひとつに掲載していただきました。テレビ佐世保さんも行事イベントとして放送されています。今回はポスターの校正を実行委員で行いましたので、広告費を節約することができ少し多めにポスターを作ることができました。また、カレンダーを作るという意見がありましたので、販売分だけ作製しました。協賛企業さんにも配りたかったのですが予算の都合上できませんでした。オープニングに関しては、延べ人数ですが過去最高の来場者数2,600人を記録することができました。バザーも地元出店者、地域おこし協力隊の光るキーホルダー作りなどで賑わうことができました。昨年サンタクロースのプレゼントが足りなくて何人かの子どもたちが泣いていましたが、今年は交付金を増やしてもらいましたので、全員に渡すことができました。期間中の最後の日になりますが、1月8日に平戸一番音楽祭 in 光のフェスタを夕方から開催し150人程の来場者があって盛り上がることができました。10周年の特別イベントとしてスタンプラリーを行いました。1件しか応募がなく、まち歩きというイベントはかなり難しいと実感しました。点灯期間は1月9日で終了しましたが、緑地協会さんのフォトコンテストの写真の審査が先日終わりましたので、また親和銀行さんや田平支所に掲示しようと考えています。15ページから20ページまでは点灯式や期間中のイベントの写真です。23ページですが、交付金の増額もありイベントのロゴを作製しまして、今後このロゴを使っていきたいと考えています。以上です。

会長

報告が終わりましたので、質疑に入ります。何かご質問はございませんか。

委員

光のフェスタの発足時は緑地協会さんから、公園の有効活用ということで商工会青年部に話があったかと思いますが、その話であれば公園使用料は免除できないのか。

光のフェスタ実行委員会

収入として緑地協会さんから5万円いただいています。使用料は県の施設ということでどうしても免除できないということです。

会長

他にございませんか。他にないようでございますので、これで質疑を終結いたします。有難うございました。光のフェスタ実行委員会の退室をお願いします。それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら評価表を回収させていただきます。なお、集計結果は5番の報告事項に入る前に事務局から報告いたします。

～採点中～

会長

つづきまして、第19回たびら中瀬草原クロスカントリー大会の審査に入ります。たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会の入室をお願いします。第19回たびら中瀬草原クロスカントリー大会事業について、たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会からの実績報告をお願いします。時間配分は実績報告を10分、質疑応答を10分、採点を10分とします。それではお願いします。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

皆様こんにちは、第19回たびら中瀬草原クロスカントリー大会につきましては、減額予算でしたので実行委員と事務局で頭を捻りながら大会を開催したわけがあります。皆様からマンネリ化しているのではないかと様々なご意見がありましたので、実行委員会でもその点協議をしながら進めて行ったわけがあります。今回は新たな種目としてリレークロカンを行い、これが好評でありまして次回もやっというと考えています。市外の参加者が約40%ということで今後周知の方法を考えていけば多少の参加者の増加を見込めるのではないかと考えています。今回21万円が減額されたということで、またリレークロカンを新たに始めると決まっていたために大きく予算を組み替えなければいけないところが出ました。28ページですが、大きく変わったところが借上料や臨時職員の賃金などを減額して減った分の対応をしました。借上料ですが、これは大型バスを2台運行していましたが、昨年の運行状況を確認したところスクールバスでも大丈夫ということでしたのでスクールバス5台に変更しました。それから賃金ですが、事務補助として3ヶ月ほど来ていただいていたけど、必要最小限のパートに置き換えて節減しました。予算の増減について最初の計画よりもだいぶ変わってしまったということが反省

点ですが、今回工夫したり組み替えをして今年は何とか実施することができました。またリレークロカンの新設ですけど、実行委員会に諮って賛成をいただきましたので実施させていただきました。結果は好評で、何よりも最後まで人が残って会場が賑わいまして、出店していただいたお店、うどんや商工会女性部さん、振興公社の皆さんも良く売れたということで良かったと思います。今回は新たな取り組みとして申込用紙を郵便振替対応に改めたことと、それとウェブの受付を行いました。初めての取り組みでどれくらい利用があるのかと思っていましたが、両方とも見込みよりも利用がありまして、もう少し工夫して広告費を捻出したり宣伝をうまくやれば今後市外についてもさらに伸ばして行けるのではないかと手ごたえはありました。今回実際の参加者は31 ページで639名となっていますけど、リレーだけ参加した選手がいましたので、再度集計したら645名となりました。延べの参加者は815名、あと100名程度は増えればと希望はありますけど達成に向けて頑張っていきます。この大会の一番多かったエントリー数は905名です。少子化で対象者が減っているとスポーツイベントがあちこちで開催されているということで、参加者確保には厳しいものがありますが、クロスカントリーという草原を走る近隣にはない強みを活かして今後はさらに人が集まる大会にしていきたいと思えます。報告を終わります。

会長

報告が終わりまりましたので、質疑に入ります。何かご質問はございませんか。

委員

予算が削られてやりくりが大変という報告でしたが、工面すればできるので、もらった分だけ使うとかあるだけ使うのではなく、交付金ですので予算内でするように計画してください。今後の課題としてください。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

分かりました。報償費ですが、今年はリレークロカンを増設した関係で増えましたが、今後はラッキー賞などの配布を含めて見直します。消耗品もリレークロカンの増設によってゼッケンが必要となり増えました。

委員

種目を増やすなら最初から増やした予算を組んでいるのでは。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

種目を増やすというのが先あって、そのあと予算が減額になりまして検討し

ましたが何とかできるということで種目を増やしました。

委員

それはおかしい。種目を増やすならそれなりの予算を組まないと事業ができない。事業内容によって予算を組むわけでしょう。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

おっしゃるとおり、こちらの見込みが違ったということをご理解いただきたいと思います。今後は十分検討して予算を組んでいきます。

委員

リレークロカンは見ていて楽しく良い取り組みと思えました。今後は大人の部のリレークロカンを検討していただきたい。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

競技ができる参加者の見込みがあれば入れていきたいと思いますが、今年は総競技時間が45分長くなっていて参加者や運営の関係からも競技時間が長くなると全体としてはマイナスとなることもあり、時間短縮の目途と参加者の見込みがあることがクリアできれば新たに検討していきたいと思えます。

委員

参加費を取れる人が出場できる大会にすると、もう少し予算も余裕ができるのかと思います。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

来年は20回の節目の大会となりますので、今のご意見を実行委員会で諮りながらマンネリ化のない大会にしていきたいと思えます。

委員

学年毎ではなく距離毎ですれば時間短縮になると思えますが、コースの幅が狭く危険な箇所もあるのでコースを変更すれば一斉の協議ができるのではないかと思います。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

コースの変更は厳しいですが、拡幅は怪我防止を含めて実行委員会で考えていかなければと思っています。

委員

地元の人の参加が非常に少ないと思います。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

以前は陸上も盛んで地元の関係者の参加が多かったのですが、最近は競技者の高齢化で参加者が減っています。また、各地区でクロカン以外にもロードレースなどが重なっており市外の参加者の増員というのが難しく、地元の参加者を増やしていく努力をしなければと考えています。

委員

大会運営に関してボランティアスタッフ 100 名程度で足りているのか。広報は回覧だけでなくもう少し浸透する方法や記録など楽しめて子どもから大人まで参加しやすいように考えられないものか。

たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会

ボランティアスタッフですが、毎年何とか足りている状況ですが、スタッフを集めるのに手間暇はかかっています。新たな協力先を開拓する必要があると思います。今は市職員、体育振興会、たびスポ、生活学校、市職OB、交通安全協会、地域おこし協力隊、ボランティアの方々に協力をいただいておりますが、厳しい状況にありますので、もっと多くの方に協力いただけるよう頑張っていきます。もっと楽しめる、気軽に参加できることに関しては、今はタイムを競うものばかりですが、例えば申告したタイムとピタリ賞などの導入を含め全体の競技時間を見ながら少しずつ新しいことを考えていきたいと思います。

会長

他にございませんか。他にないようでございますので、これで質疑を終結いたします。有難うございました。たびら中瀬草原クロスカントリー大会実行委員会の退室をお願いします。それでは、お手元の評価表にご記入をお願いいたします。採点が終わりましたら評価表を回収させていただきます。集計につきましては時間を要しますので、結果が分かるまで休憩といたします。

～採点中～

〔休憩〕

会長

それでは会議を再開いたします。集計結果が出ましたので、事務局からの報告を求めます。

## 事務局

集計結果を報告します。第10回光のフェスタ事業について、地域協議会の評価といたしまして、合計平均93点であり総合評価はAの大変評価できるとなります。また、評価コメントにつきましては、10年目で電飾を5万級追加され、例年になく華やかだったけど、来年度また寂しくなるのではないかと心配。継続されることを希望する。協賛金が今後集まるのか不安ですとのこのイベントが地域振興の輪を広げて地元の活性化に期待する。地元住民の参加型「門松作り」以外に楽しんでいけるプログラムを期待するとの評価コメントがありました。次に第19回たびら中瀬草原クロスカントリー大会事業について、地域協議会の評価といたしまして、合計平均88点であり総合評価はAの大変評価できるとなります。また、評価コメントにつきましては、12月の中瀬はとても寒く12月開催は厳しいのではないのでしょうか。リレークロカンの充実に期待します。今後も課題をクリアしていただきたい(参加者を増やす方向で大人の部などを新設)。競技の新設などマンネリ化防止に努力されていると思う。大会情報の発信など広報のあり方を一考されてはどうか。次回は第20回目となりますので、参加者増などに努力してください。新種目を取り入れたことにより参加者増となったので、今後も新種目の導入に取り組んでほしい。参加者の成績一覧を公表したらいいと思う(駅とかバスターミナル等)との評価コメントがありました。以上、評価結果の報告を終わります。

## (5) 報告事項

### 会長

それでは次に5番の報告事項に入ります。第2次平戸市総合計画について、財務部企画財政課より報告をお願いします。

### 企画財政課

第2次平戸市総合計画についてお願いがあつてまいりました。第1次が平成20年度から平成29年度の10年間の計画です。去年度条例を策定し、審議会委員21名を決めました。田平からは(久原)会長に審議会委員になっていただいています。28年度1度行う。審議会は3層構造、10年間の計画を策定し、議会の承認を必要とする。

審議会は任期3年間、中身は、審議会づくりプロジェクトを、平成28年12月議事に計上、議会で地域ごとのプロジェクトを作ったらどうかとの話があった。内容を地域協議会で説明、田平地区は、まちづくり協議会の作成される内容をベースに載せさせていただきたい。まちづくり協議会でたたき台を作っていただきたい。区域は本島を北・中・南部、大島・田平・生月の6地域のプロジェクトをまとめたい。総合計画は平成29年度中に策定しなければならない。地域協議会の意見と、地域



ごとのワークショップを開催する。ご参加いただきいろんなご意見をいただきたい。また地域協議会の目標をいただき第2次総合計画として作り上げていきたい。ただいまから資料に基づき班長から説明いたします。

#### 企画財政課

パワーポイント印刷の資料に沿って説明します。2ページの総合計画とは何かということからですか、平戸市のまちづくりのための総合的な指針。庁内にあるいろんな計画を包含した最上位の計画です。総合的に行政運営を行っていく計画です。3層構造になっており、基本構想・基本計画・実施計画があります。各市こういった作り込みを行っています。

3ページ 3つの意味合いですが、基本構想とは、未来の本市のあるべき姿を示すとともに、これらを実現するための基本的な施策の方向を明らかにし、市政運営の指針とするものです。基本計画とは、基本構想の実現のための基本的な施策を体系的に定めたもので、市政運営を総合的かつ計画的に進めていくためのものです。実施計画とは、毎年事業を各課から3年間出していただいて基本計画に示した施策を計画的かつ効率的に実施するためのもので、具体的な事業を示したものです。

4ページ 計画の期間は、基本構想は10年間通して行ったが、前回と違って基本計画は途中で見直しを行い前期と後期に分けて行います。実施計画は毎年行っている計画です。

5ページ 一次計画の検証をして、2次計画を策定していこうとしています。

6ページ 計画の策定体制ですが、計画を作るにあたってどういう体制で行っていくのか、審議会は21名で構成し、表にはありませんが、6名の委員に集中的に審議してもらっている。現在3回開催。市民参加の部分ですが、地域協議会・地域審議会の説明や、29年4月以降に各地でワークショップを、市民アンケート行い、意見をひろっていきたい。庁内組織は、地域協議会の意見として、若手委員が入っていない意見があり課長級で組織する検討委員会で市の班長や若手職員の意見もふまえて作る。計画は総合計画審議会で練りまして市長に答申、議会に提案し内容を審議してもらう。

7ページ 基本構想の流れですが、6名の委員に3回審議していただいて骨子案を審議しているが、まだ詳細が固まっていない。

骨子案を作成し、地域協議会で説明、審議会で協議、パブリックコメントを実施、最終的に議会に上程する。

8ページ 一番大事な基本構想のポイントですが、5つあります。次の10年に向け大きく飛躍するため、躍動感あふれ実効性がある内容にしたい。いろんな方が見れるような書き方にしたい。前回、170ページの計画で分かりづらいとの話があり、市民が読んでもらえる分かりやすい表記にする。広く市民の意見を聞くために、

地域協議会、ワークショップ、パブリックコメントを行う。市のいろんな計画を網羅して策定する。地域の優位性・独自性を活かしていくため、地域別の目標を設定する。

9 ページ 基本構想の具体的な構成ですが、前は、平戸市の現状と課題を述べ、その次にまちづくりの基本理念を提示していましたが、今回は、分かりやすくすることをふまえて、まず最初に市の未来を描き、その次に市の現状と課題を表記する。

10 ページ 地域づくりプロジェクトについて、各地区でまちづくり協議会ができていますが、地域の優位性・独自性を活かしていくため、地域別の目標(プロジェクト)を設定する。以上説明を終わります。

会長

ただいま、財務部企画財政課より第2次平戸市総合計画についての報告がございましたが何かご質問はございませんか。

委員

計画が前期と後期で見直すということですが、地域のプロジェクトを設定する、まちづくり協議会の課題にも取り組むということですが、まちづくり協議会がないところはどのようにするのか。

企画財政課

まちづくり協議会がないところは、区長連合会にお願いをして作り上げたいと思いますが、具体的な計画までは踏み込めませんので、とりあえず前期に反映できる地域の意見を拾い上げカバーできればと考えています。

委員

合併から10年たった。何もかも平戸北部に集中している。地域の課題をプロジェクトに十分に入れていただきたい。

委員

この資料で説明されましたがなかなか中身が見えてこない。何が新たに変わったのか分からない。何を質問していいのか分からない。骨格ができた時点で再度説明できないのか。

企画財政課

4月の総合計画策定委員会です承が得られれば、5月の地域協議会で報告ができればと思っています。具体的な目標の数値化は4月以降に作り込みしていきます

すので、その分の報告はずれ込みます。基本構想は9月議会で出す方向で進めていきますので、最終的には11月の地域協議会ではっきりした報告ができるものと思います。

委員

地域プロジェクトについて、2年前に成人式が急遽北部で一本化された。田平は青年団長がこういう活動をしていると新成人にメッセージを発信し独自の成人式が行われていて良かったが、今後本当に地域の目標が活かされるのかと感じた。

委員

プロジェクトはまちづくりの目標を計画に盛り込んでいくのか。

企画財政課

おおまかな目標を決めていきたい。

委員

市民全体が考えているのは、生活の安定だと思うが、1次計画でも産業が置き去りになっている感があった。今ある産業をどうやっていくのかという課題も盛り込んでいただきたい。

企画財政課

昨年作った総合戦略がありますが、これは27年から5年間の期間ですが、ふるさと納税の基金を作りまして、この財源を雇用対策や少子化対策に割り振っています。総合戦略は、数値関係の5年間目標掲げており、この目標に向かって重点的に予算の配分を行っています。この総合戦略が、総合計画の前期のベースになるわけですが、国勢調査の結果や、他にも水産、農業、福祉などの個別計画がありますので、一番近いものを総合計画に組み込むことになります。

委員

総合戦略の中で、長期的なふるさと納税はどういう位置づけなのか。

企画財政課

ふるさと納税、現在の返戻金率は45%。いつかはなくなると思っている。30億の予算のうち、平戸の永久ポイント10億弱はまだ使っていない。それと別に基金が16億があり、計36億あるのでそれをストックしている状態。

委員

その分を少しでも地域に還元してほしい。

会長

他に質問がございませんか。（「無し」の声）

他に質疑がございませんので、これで質疑を終結いたします。ありがとうございました。

（休憩）

会長

再開いたします。次に、（２）まちづくり運営協議会について、田平支所地域振興課より報告をお願いします。

事務局

（事務局よりそれぞれ説明。報告事項のため議事録省略）

- ・まちづくり協議会の準備委員会の経過報告について
  
- ・まちづくり交付金について
  
- ・たびらまちづくり運営協議会（仮称）のスケジュールについて

（質疑応答）

会長

最後に、次回の会議の開催ですが第5回定例会を3月28日（火）に招集いたします。日程につきましては、調整を行いまして前もってご通知を差し上げますので、よろしく願いいたします。また、先般区長会からまちづくり協議会設立の件で、合同意見交換会を開催依頼がありましたので、それが3月1日田平町民センターにて行います。よろしく願いします。それでは、以上をもちまして平成28年度第4回田平町地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

17時00分 閉会

9. 会議録の公開・非公開 公開

10. 会議資料等の名称及び内容

平成 28 年度第 4 回田平町地域協議会会議次第

まちづくり活性化事業交付金要綱・審査要領【田平地区】・事業評価要領

平成 28 年度平戸市まちづくり活性化事業交付金実績報告に係る評価審議資料

(光のフェスタ事業・たびら中瀬草原クロスカントリー事業)

第 2 次平戸市総合計画の策定について

田平北小学校区まちづくり計画書

田平南小学校区まちづくり計画書

田平東小学校区まちづくり計画書

田平まちづくり計画書(素案)

校区を統合し組織決定した場合の加算措置の是非について

(仮称)田平まちづくり協議会設立までのスケジュール

11. 会議録の作成者の職氏名 平戸市田平支所地域振興課  
参事監兼市民協働班長 立石 哲也

12. その他 この会議録は、地域協議会の運営等に関する規則第 18 条第 2 項の規定により、要点記録とする。

平成 29 年 5 月 31 日

会議録署名人 長田 康志

早田 博子